

設 立 趣 旨 書

現在、日本では少子化や学校部活動の地域移行が進む中で、中学進学時に希望するスポーツ競技の継続が困難な環境に置かれる子どもが増えています。特にサッカー競技に至っては、部員減少により競技人数である11人に満たない部も増え、「中学に入ったらサッカーをどうしようか」という問題に頭を悩ませる子どもや保護者が増加しているのが現状です。地域のクラブチームへの入団が一つの選択肢として挙げられますが、その多くは入団するための試験(セレクション)を設けており、一定の水準に満たない選手は競技の継続自体を辞める、諦めざるを得ない状況に陥るケースも見受けられます。

このような状況では、サッカーが好きで続けてきた子どもが、中学進学時にふるいにかけるような経験を余儀なくされます。これからまだまだ上達して活躍する未来や、競技の面白さや奥深さ、サッカーを通して仲間と繋がる楽しさを経験する機会の全てが失われてしまう事は、子どもの将来にかかわる大きな問題です。

私たちは、すべての子どもが希望するスポーツを心から楽しみ、仲間と共に生涯継続して打ち込める環境が望ましいと考えます。誰もが入団でき、子どもも保護者も安心して競技を続けられるクラブチームが必要です。

1985年(昭和60年)4月、横須賀ジュニアFCは「サッカー部がない中学校に進んでも、サッカーを続けられる環境を提供したい」という思いから、横須賀地区初のクラブジュニアユースチームを創部しました。創部以来、入団試験(セレクション)を行わず、「サッカーを続けたい」という気持ちを広く受け入れ、地域の子どもたちがサッカーを通して成長し、仲間と共に輝ける場を提供してきました。また近隣の青少年・児童サッカーチームとの合同練習会やキッズ大会の共同運営等、多くの交流の機会を持ちながら連携を深めてきました。

創部から39年間、神奈川県クラブジュニアユース連盟に所属し、主な活動の主体としてきましたが、この度2024年(令和6年)9月、神奈川県中学校体育連盟への加盟登録を行いました。所属を横須賀市中体連に移すことで、近隣の各中学校との連携を深め、特に部員の少ないサッカー部との交流や、これまで機会が少なかった他のクラブと中体連の交流の場を増やす役割を担いながら、より多くの子どもがサッカーを通して成長できる環境づくりに努めています。

今後も引き続き、地域の青少年・児童とその保護者に対して、地域に根差した門戸開放型のサッカークラブ運営に関する事業を行い、子どもが何不自由なく、中学校に進学してもサッカーを思う存分続けられる社会への貢献に寄与することを目的とします。

その目的のために、これまでの活動を継続・拡大・発展させ、運営体制と財政基盤を確立するために、情報公開が義務付けられており、運営の透明性や公平性が求められる特定非営利活動法人を設立することを決意しました。

2025年 2月 15日

法人の名称 特定非営利活動法人 横須賀ジュニアFC

設立代表者 白石 孟則